

登録を目指している「道の駅」の名称が決定しました ～ 名称 「道の駅275つきがた」(に一ななごーつきがた) ～

令和5年7月1日から8月15日の期間において、令和6年秋頃の登録を目指している「道の駅」の名称を募集させていただいたところ、142件の応募をいただきました。ご応募いただきました町内外の多くの方々に、厚くお礼を申し上げます。

【選考方法】

ご応募いただいた名称を「月形町道の駅名称選考委員会」において協議しました

【選考理由】 以下のとおりです

- ・「275」という単語をメインにすることによって、国道275号線の沿線に月形町があるということがドライバーの方々にとってもわかりやすいと思われるため
- ・月形町道の駅の場所、位置関係をわかりやすくするため
- ・地元以外の方々にも「275」という道路の名称をアピールしたいため
- ・他市町村の道の駅の名称でも「275」という名称は使われていないため

つきがた特産品試食会を開催しました

2月26日に交流センターにて町民を対象に、リニューアルオープンする温泉のレストランと売店で販売を予定している商品や月形の特産品の試食会が開催されました。

今回は、月形町振興公社の「ミネストローネ」や月形高校の生徒がポポット、マンマルーナとメニュー開発した「パスタ」「メロンジュース」「スイカジュース」などの試作品、町内事業所の「トマトジャム」「ラズベリージャム」「メロンジャム」「そばの実グラノーラ」「月形熟成牛のソーセージ」「レトルトカレー」など町の特産品を参加者が試食しました。試食会の参加者からは、試作品や特産品の食べやすさやおいしさ、今後の道の駅への登録に期待する感想が寄せられました。

今後も月形町の賑わい創出や地域に愛される商品の魅力発信を目的に、試食会の開催を予定しています。

★試食会参加者からの主な感想・要望★

- 町内の特産品がさまざまな味に変化して提供され、どれも味付けが良くて、美味しくいただきました。
- 試作品や特産品のコンセプトを事業者から聞いて良かった。多くの特産品を美味しくいただくことができました。
- 道の駅には町の特徴を生かせる商品があったり、売店で購入できるお土産の種類がもっとあれば良いと思います。
- 道の駅のレストランでしか食べられないものがあると良い。今からレストランのメニューを楽しみにしています。

